実を結んだ早期のネットワーク化

Knoll Maschinenbau社は早期に焦点を未来に当ててそれに向けた計画を行い、あらゆる可能性を完全に活用することで、将来の要件に対応できるだけの十分な保管能力を整えると同時に、生産性を向上させることにも成功しました。その先見性が実を結んでいます。

KNOLL Maschinenbau GmbH

www.knoll-mb.de

家族経営企業であるKnoll社は1970年にドイツ・バートザウルガウで設立され、長年にわたって常に成長を続けています。南ドイツのバートザウルガウ所在の同社は、トップクラスの金属加工向けコンベア/フィルタ装置メーカーです。同社の容積型ポンプは、化学や食品などの業界で使用されています。同社のポートフォリオには、極めてフレキシブルな組立/搬送システムも含まれています。

業界
機械製造

従業員数
1,000

事業拠点
バートザウルガウ (ドイツ)

課題

Knoll Maschinenbau社は45年前に設立されて以来、毎年成長し続け、 生産棟が次々と建設されまし

た。そして2007年に同社のチームは、板金加工用に完全に新しい工場計画を起案するという課題に直面しました。移動経路の短縮とプロセスのスピードアップが目標として設定されましたが、 そこでは、保管能力が主要な課題となりました。Knoll社は同社の設備向けに部品とコンポーネントを製造していますが、その材料は最大7種類にも及び、個数も1から20までと様々です。材料を適切なタイミングで正しい機械に供給するスピードも、同様に重要なポイントとなりました。

解決策

Knoll社が購入した全自動STOPA倉庫は全長が70メートルあり、1,200の保管場所と13のローディング/アンローディングステーションが備わっています。倉庫の心臓部はスタッカークレーンシステム (RGB) です。TRUMPFの生産制御システムTruTops Fab Storageは、材料の流れを制御して監視し、入力したオーダーに基づいて材料の必要な事前保管を促し、在庫と機械稼働率に関する正確な情報をいつでも提供します。

"振り返ってみると、わずか4年間で多くのことを達成し、あらゆる面で正しい判断をしてきたと思います。"

ヨアヒム・リープザーメン
KNOLL骨組み製造課長

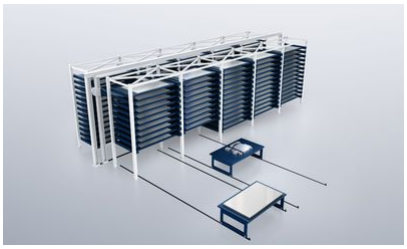
実行

TruTops Fabはインターフェースを介して、上位にあるKnoll社の生産制御/計画システム (PPS) と接続されています。同社はこのインターフェースを、主に材料管理用に使用しています。このツールの導入により、Knoll社はスマートファクトリーに一歩大きく近づきました。

展望

Knoll社にとっては、既存のシステムを自社のために利用して、それが持つ能力を最大限に引き出すタイミングが来ています。過去4年間で、当社の板金加工の生産性は20～25 %高まったと推測されていますが、実際はそれより高い数字であると思われます。そして更に高まっていくはずです。

当社製品の詳細をこちらからご覧ください



STOPA倉庫

STOPA大型倉庫システムは単なる材料倉庫にとどまらず、製造用の物流センターとして幅広い役割を果たします。STOPA大型倉庫システムは、カスタマイズ仕様になっているため、長さ、幅、高さ及び板金寸法において、顧客の要求に沿って極めてフレキシブルに対応します。

Zum Produkt □